

平成30年1月24日

地域経済産業調査（平成29年10-12月期）結果

全体の動向

今期（10-12月期）の近畿経済は、緩やかに改善している。

生産は、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、電子部品・デバイスを中心に横ばいながら高水準で推移しており、生産ラインをフル稼働しても受注に追いつかないという声や、受注は好調だが部品の確保が難しい状況にあるとの声も聞かれる。

設備投資は、製造業では、設備の維持・更新や生産能力の増強を中心に多くの企業が当初計画どおり投資を実施。また、一部の企業では生産能力向上のための追加投資や人手不足を補うための自動化への投資がみられる。非製造業では、倉庫を始めとする物流施設への投資や、小売業で需要拡大のための新規出店や店舗改装がみられる。

雇用情勢は、人手不足が続いている。小売業やサービス業を中心にパート・アルバイトの確保が困難であり、また製造業を中心に技術者や有資格者が集まりにくいとの声が多く聞かれ、事業への影響も懸念されている。対策として、時給アップ、短時間勤務の導入、女性の活躍、外国人など多様な人材の活用、省力化の推進がみられる。

個人消費は、百貨店は、免税品や高額品の好調に加え、気温低下に伴い冬物衣料も国内中間層を含めて動きが良い。スーパーは、相次ぐ台風接近もあり客数が減少したが、食料品は堅調。コンビニは引き続き好調。家電は、新型の携帯電話やゲーム機が好調。乗用車は、新型車が牽引するも、小型車を中心に無資格検査問題の影響で減少。

個別の動向

- （１）生産：横ばい傾向
- （２）設備投資：緩やかに増加している
- （３）雇用情勢：改善しており、労働需給の引き締まりがみられる
- （４）個人消費：緩やかに改善している

これまでの基調判断の推移

	平成28年10 - 12月	平成29年1 - 3月	平成29年4 - 6月	平成29年7 - 9月	平成29年10 - 12月
全国	↗	→	→	→	→
	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している
近畿	↗	→	→	→	→
	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している

（参考）今回、本調査の対象機関（101）、実施期間（平成29年11月22日～12月22日）

（本件のお問い合わせ先）
近畿経済産業局総務企画部調査課長 西山
担当：山口、加藤 電話：06-6966-6004

生産 ～横ばい傾向～

はん用・生産用・業務用機械は、海外向け自動立体倉庫装置が好調。電気機械は、車載用を始めとするリチウムイオン蓄電池が高水準で推移。電子部品・デバイスは、中国向けスマートフォン用のコンデンサが好調。輸送機械は、国内向け乗用車が増加し、自動車部品も堅調。総じて生産は高水準で推移しているが、生産ラインをフル稼働しても受注に追いつかないとの声や、受注は好調だが部品の確保が難しい状況にあるとの声も聞かれる。

【企業の生の声】

受注残を含めた発注対応で、フル稼働でも追いつかない状態。海外向けが特に好調で、こうした状況はまだしばらく続くと見込む。部材不足が厳しく、大幅な増加になるとサプライヤーに受けてもらえない。【業務用機械器具】

半導体製造装置等の売上が好調。しかし、部品業界がメーカーの需要に対応しきれていない。中古部品を仕入れるなどでカバーしているが、今後益々の増産に対応できるか不安。【生産用機械器具】

自動走行や第4次産業革命の高まりによりセンサーや半導体需要が高く、工場は引き続きフル稼働状態。【生産用機械器具】(中小)

車載用のリチウムイオン電池が好調で、売上が拡大。工場の生産ラインを増設して対応している。【電気機器】

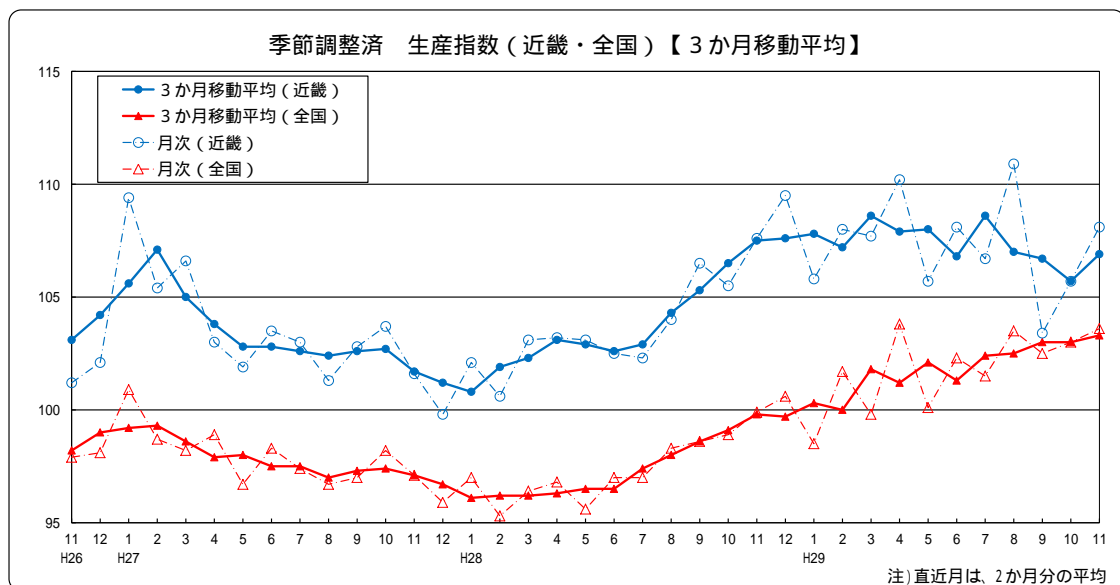
コンデンサの受注が増大しており、需要に対して供給が追いついていない状態。現在の設備はフル稼働状態であり、重要設備の新設や改修も実施している。

【電子部品・デバイス】

海外スマートフォンメーカーの好調を受け、コンデンサの生産が増加。さらに、半導体製造装置メーカーからの受注も増加している。【電子部品・デバイス】

国内向け小型車が好調。生産は計画通り進んでおり、緊急時には他の工場からの応援や残業などで対応する。【輸送用機器】

海外向け軽自動車用の部品が極めて好調であることに加え、国内向け小型車用も好調。フル稼働での生産横ばいが続いている。【輸送用機器】(中小)



(注) 近畿・全国：平成22年基準(平成22年=100)

データ出所：近畿経済産業局「近畿地域鉱工業生産動向」

設備投資 ~ 緩やかに増加している ~

製造業では、設備の維持・更新や生産能力の増強を中心に多くの企業で当初計画どおり設備投資が実施されている。また、一部の企業では生産能力を向上させるための追加投資や人手不足を補うための自動化への投資がみられる。非製造業では、倉庫を始めとする物流施設への投資や、小売業で需要拡大のための新規出店や店舗改装がみられる。

【企業の生の声】

生産設備を増強するため、追加投資を実施。生産が追いついていないため、倉庫で設備を稼働させ生産している状況。【電気機器】

設備投資は、予定通り順調に進捗している。他方で、需要増に対応するため、設備投資額を当初計画から上積みする。【電子部品・デバイス】

取引先の生産計画が高いこと及び新規の取引先を開拓したことにより、マシニングセンタを購入。さらに、来年度の投資計画を一部前倒しして、もう一台購入。

【輸送用機器】(中小)

自動縫製機を年度末までに導入する予定。今後、ものづくり補助金の活用も検討していきたい。【繊維工業】(中小)

生産体制の合理化に取り組み、IoTの活用を11月から開始。機械の稼働状況をスマホでも見られるシステムを導入。【プラスチック製品】(中小)

中小型の倉庫を大型倉庫に再編する。また、省人化設備を増やすことでコストカットと作業効率アップを期待。【道路貨物運送業】

自動倉庫を建設中。業界自体あまり良くないが、当社は売上を伸ばしており、同業他社との格差を圧倒的に広げるために投資を行う。【卸売業】(中小)

29年度は、ほぼ計画どおりに定期整備による設備更新を実施する。

【石油・石炭製品】

前年度とほぼ同水準。既存店の改装には、ほぼ新店を作るぐらいの金額をかけている。イートインや惣菜の需要拡大が見込めるため売場を強化していく。

【各種小売業】

全国企業短期経済観測調査

(前年度(前年同期)比:%)

	近畿						全国					
	平成28年度			平成29年度(計画)			平成28年度			平成29年度(計画)		
	上期	下期	下期(計画)	上期	下期(計画)	上期	下期	下期(計画)	上期	下期(計画)		
全産業	2.1	2.4	5.7	4.8	12.9	1.1	0.4	1.2	0.2	6.3	3.4	8.6
製造業	7.6	3.4	11.2	11.1	20.2	3.6	2.6	5.1	0.6	10.1	6.1	13.3
大企業	9.7	3.7	15.0	10.1	20.9	1.4	4.3	5.0	3.7	10.2	4.1	15.2
中堅企業	4.0	3.3	4.6	24.4	25.7	23.5	6.3	1.0	10.6	15.3	15.5	15.1
中小企業	11.2	13.0	26.1	2.0	7.5	11.0	6.7	9.8	17.1	4.4	5.0	4.0
非製造業	1.5	6.6	2.3	0.3	7.0	4.2	0.7	0.9	0.6	4.3	1.9	6.2
大企業	4.0	11.2	1.4	0.5	5.0	4.1	5.4	4.1	6.4	5.8	0.4	9.9
中堅企業	25.3	32.8	20.4	7.8	22.7	3.0	3.1	1.2	6.2	21.1	3.6	34.7
中小企業	16.3	2.0	30.2	9.5	5.8	13.6	16.3	6.9	24.9	10.6	4.5	22.5

データ出所: 日本銀行(含む 土地投資額)

(大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円~10億円未満、中小企業: 同2千万円~1億円未満) 平成29年12月15日公表

雇用情勢 ～改善しており、労働需給の引き締まりがみられる～

人手不足が続いている。小売業やサービス業を中心にパート・アルバイトの確保が困難であり、また製造業を中心に技術者や有資格者が集まりにくいとの声が多く聞かれ、事業への影響も懸念されている。対策として、時給アップ、短時間勤務の導入、女性の活躍、外国人など多様な人材の活用、省力化の推進がみられる。また、働き方改革として、残業抑制や休暇取得促進の取組みが多くみられる。

【企業の生の声】

- ・パートの不足が続いている。対策として、時給を上げているほか、時短勤務を導入している。また、セミセルフレジの導入や電子マネーの利用拡大を進めている。

【各種小売業】

- ・パート、正社員ともに不足している。改善する兆しはない。人手が足りず店舗を閉めるところまではいっていないが、人件費のコストアップを吸収できない不採算店舗は閉めることになる。【飲食店】

- ・顧客からの依頼は増えているのに人材がいない。【労働者派遣業】

- ・自動運転やセンサー分野に強い技術者を採用したいが、なかなか難しい。

【情報通信機器】

- ・電気技術者が特に不足している。技術者も高齢化しているため、新卒プロパーを育成したいが、時間がないうえ、そもそも若手技術者は引く手あまたで採用できない。

【電子部品・デバイス】(中小)

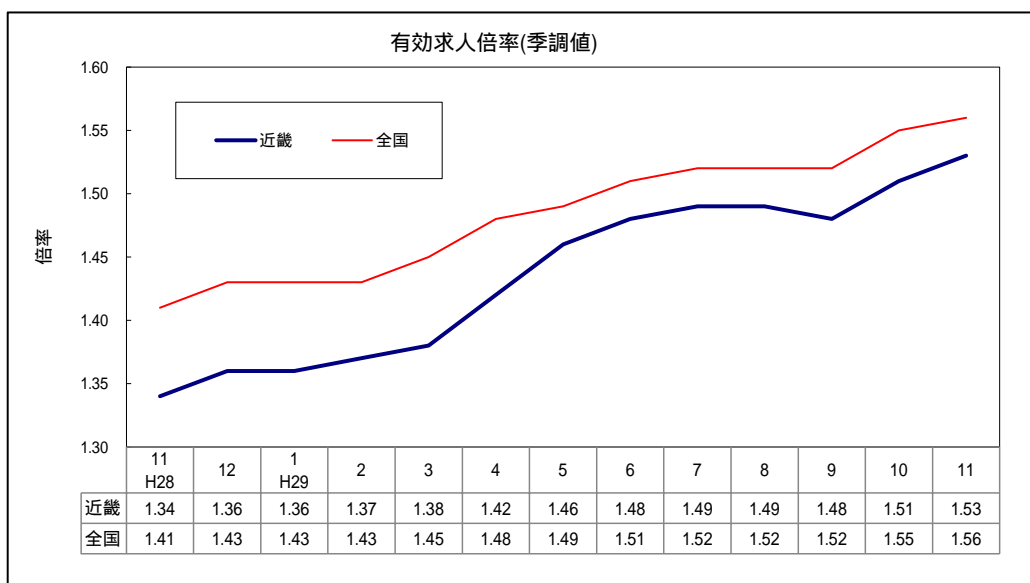
- ・慢性的な人手不足に対応するため、主婦層の掘り起こしに力を入れている。短時間でも働いてもらえるよう柔軟に対応するほか、保育所を設置するなど支援策も充実させる。【各種小売業】

- ・以前に受け入れたベトナムからの研修生1名を、海外研修生としてではなく大卒扱いで採用する。【生産用機械器具】(中小)

- ・生産性の向上と省人化を図るため、営業・設計など各工程で使用するシステムを新しく開発中。【総合工事業】

- ・残業時間の削減や有給休暇の取得促進など、ワークライフバランスを強化する。

【電気機器】



データ出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」

個人消費 ~ 緩やかに改善している ~

百貨店は、免税品や高額品の好調に加え、気温の低下に伴い冬物衣料も国内中間層を含めて動きが良い。スーパーは、相次ぐ台風接近もあり客数が減少したが、畜産品を中心に食料品は堅調。コンビニは引き続き好調。家電は、高機能・高単価の白物家電に加え、新型の携帯電話やゲーム機が好調。乗用車は、新型車が牽引するも、小型車を中心に無資格検査問題の影響で減少。インバウンド消費は好調を維持。

【企業の生の声】

気温が低下し、コート類が好調。選挙結果や株高、年末のボーナスなどにネガティブな要素はなく、中間層の購買心理にポジティブな影響を与えている。

【各種小売業】

インバウンド売上は、化粧品やラグジュアリーブランドに加え、子供服やスイーツなど幅広いアイテムが好調に推移。【各種小売業】

中食商品の動きが良い。FF商品が一番伸びており、カウンターコーヒーや揚げ物・焼き鳥が好調。気温低下で、肉まんやおでんの売行きも良い。働く女性が増え、夕飯のお惣菜としても買われている。【各種小売業】

インバウンド需要と新店効果で売上は右肩上がり。ヘルスケア関連も良く、機能性マスクや美容マスクの新商品の売上が非常に好調。【各種小売業】

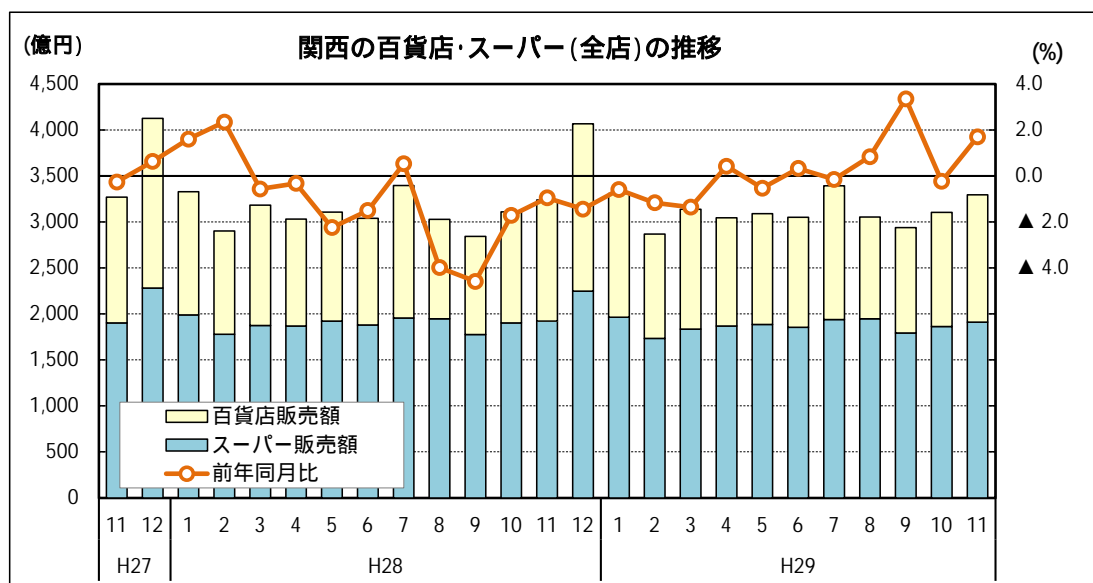
TVゲームと新型の携帯電話が牽引、白物家電も好調。テレビは有機ELや4Kの割合が増加。エアコンは複数温度送風機能や清掃機能など高機能タイプが人気。

【機械器具小売業】

知名度の高い車種の新型車の売行きが好調。高性能で高額な車も売れているが、高齢者には安価な車も好まれている。【その他事業サービス業】

週末に台風が接近するなど天候不順の影響が大きく客数は減少したものの、牛肉を中心に畜産品が好調で、気温が低く推移したことから牡蠣など季節商材の動きも良かった。【各種小売業】

10月は台風の影響、11月は連休の並びが悪かったが、全体として大きな変化はなし。関空からホノルルへのLCC就航により引き続きハワイが好調だが、北朝鮮ミサイル問題の影響でグアムは減少している。【生活関連サービス業】



データ出所：近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」